身障とくしま

徳島県障がい者社会参加推進センターだより

ご挨拶



徳島県保健福祉部
部長　福壽　由法

徳島県身体障害者連合会におかれましては、日頃から、本県の障がい福祉行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、身体に障がいのある方の自立と社会参加を促進し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに多大なるご尽力をいただいており、長年にわたる様々なお取組みに心から感謝を申し上げます。

県におきましても、「障がいの有無にかかわらず、すべての県民が互いに人格や個性を尊重し、活躍できる徳島づくり」を目指し、県民一人一人の「心のバリアフリー」を促進するとともに、働く意欲のある方の「就労機会の確保」や、芸術文化・スポーツなどを通じた「交流の促進」、適切な「障がい福祉サービスの提供」のための事業者指導などに取り組んでおります。

去る6月27日には、国連が定めた「国際盲ろうの日」に合わせ、本県におきましてもその趣旨に賛同し、世界平和を表すシンボルカラーである青色のライトアップを県庁で実施し、盲ろう者の皆様の日常生活や「見えない・聞こえない」世界について、広く県民に知っていただくための啓発を図ったところです。

さらに、今年度は、障がいのある方の就労を支援するため、公益財団法人日本財団が障がい者就労施設等へ委託し実施している「国立国会図書館の蔵書デジタル化業務」について、新たに、県内における受け皿として、複数の就労継続支援事業所等が共同受託するための体制の構築を支援することといたしました。このプロジェクトに参画することで、デジタル化業務を担うための拠点整備や専門的技術を有する人材の確保を進め、障がいのある方の就労の可能性を広げ、更なる工賃の向上を図ってまいりたいと考えております。

今後とも、障がいのある方々やご家族の皆様のニーズを的確に捉え、一人ひとりが自信と誇りを持って地域で自立し、「いきいきと暮らせる社会」の実現に向け、各種施策を展開してまいりますので、皆様方におかれましても、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本身体障害者福祉大会開催

理事長　林　徳太郎

71回目を迎えた同大会せんだい大会が、去る6月17、18日の両日開催されました。大会初日、現時の最大の課題である「都道府県・市町村組織の活性化」をテーマに、山形県身体障害者福祉協会安部眞会長と私が事例発表を行いました。まず安部会長が「会員拡大に向けた取り組み」について話されました。

次に私は、県都徳島市と徳島県双方の身障会の長として、身障会の生き残りをかけて、何かしなければならないとの思いから、新しい立場で挑戦したことを「新時代に向けて―四身連結成と組織改革」と設題。

まず徳島市の長として、高松市、松山市及び高知市の各身障会に呼び掛け結成した四国都市身体障害者連絡会議とその活動成果について、次に徳島県の長として第一期目に行った県身連の組織及び運営の改革と人材の発掘についてお話ししました。私としては、これまでの具体的な取組をお話しすることができ、また、当日満席となった会場で熱心に耳を傾けていただいた全国の身体障害者会同士の皆さんとも共鳴し合えるいい機会となりましたことを感謝しております。

翌日の大会では、板野町身体障害者会小川エミ子会長が団体活動に長年貢献されたことに対し、大会長表彰を受けられました。大変おめでとうございました。ご健康に気を付けられ、地域のため、県身連の発展のため、ご尽力ください。



受賞の喜び

徳島県身体障害者連合会
運営協議会委員
板野町身体障害者会
会長　小川　エミ子



このたびは、第71回日本身体障害者福祉大会せんだい大会において、日本身体障害者団体連合会会長表彰という栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。この受賞は、これまで温かくご指導、ご支援くださった多くの皆様のお力添えがあってこそのものです。心より感謝申し上げます。

私は33歳の厄年に身体障害者となりました。当時は障害者会の会員も少なく、何をすればよいのかもわからないまま、不安な日々を過ごしていました。そのような中で県の指導者養成講座を受講し、平成4年3月に修了証書をいただいてからは、自分なりに障害者福祉活動に取り組んでまいりました。

また、嫁ぎ先のご縁で浄土真宗西本願寺派に親しみ、本願寺の清掃活動にも20年間参加し、お説法を通して人とのつながりや感謝の心を学ぶことができました。

20年前には友人と仙台七夕まつりを訪れた思い出があります。その仙台の地で、このたび表彰をいただけたことに、不思議なご縁を感じています。

若い頃は各地の大会にも積極的に参加してまいりましたが、これからも無理をすることなく、自分にできる範囲で障害者福祉活動に携わり、少しでも社会のお役に立てるよう努めてまいります。

このたびは誠にありがとうございました。

ぐるりとくしま

北島町身体障害者連合会

会長　米谷　昇

北島町身体障害者連合会は、昭和48年5月の設立以降、スポーツ交流会や研修会を通して、障がい者の社会参加の促進と福祉の向上を目的に活動しています。

しかし、近年は会員の高齢化が進み、平成25年には60名程いた会員数が令和8年現在では約20名にまで減少し、活動への影響も見られます。

そのような中でも、会員が楽しみながら活動できるよう、役員を中心に年間行事を工夫し、交流を図っています。

6月の健康フェスティバルでは、ラジオ体操から始まり、握力測定などの体力測定や幸運競争、洗面器お手玉投げを行いました。体力測定では昨年との比較を楽しんだり、チーム対抗のゲームでは拍手や掛け声などで応援したりと大いに盛り上がりました。

また、ゲームや抽選会では、お菓子や日用品などの景品が用意され、エコバッグを持参する参加者もいて、皆さん喜ばれていました。

この他にも、年4回の囲碁ボールやDVD上映会、秋には1日研修も実施しています。令和7年度には淡路島を訪れ、花の観賞や牛の乳搾り体験を行い、天候にも恵まれて自然に癒された1日となりました。

活発な活動が難しくなっていく中ですが、今後も会員一人一人に寄り添い、助け合いながら、楽しく活動ができるように取り組んでまいります。



健康フェスティバル

東みよし町身体障害者会

会長　島田　裕幸

東みよし町身体障害者会は、旧三加茂町と旧三好町が平成18年3月の町合併に伴い結成されました。令和8年3月末現在、東みよし町内での身体障害者手帳保有者数591名のうち、身体障害者会の会員数は91名と低迷しており、充実した活動のためにも会員の増強が喫緊の課題となっています。

本会の主な活動内容として、障害者スポーツ大会やボッチャ大会、フライングディスク大会、グラウンドゴルフ大会などを三好市と合同で行っています。これら全大会の参加者数317名に対し、本会からの参加者数は27名と少数です。この要因は会員の高齢化と推測されます。

また、本会役員が徳島県身体障害者相談員研修にも参加し、月1回「心配ごと相談」を行っています。

その他、令和7年12月には日帰り研修会が行われ、岡山県にある倉敷美観地区や農マル園芸吉備路農園等を散策しました。この日帰り研修会には、26名と多くの方にご参加いただき、盛況のうちに行われました。



日帰り研修会

最後に、会員の皆様が健康で明るく充実した日々を過ごせるよう、会員相互の親睦に努めたいと思います。

三好市身体障害者会20周年記念式典開催

徳島県身体障害者連合会監事・運営協議会委員
三好市身体障害者会
会長　藤井　修身

三好市身体障害者会は、令和8年に設立20周年を迎えました。これを記念し、7月4日に「設立20周年記念式典」を開催いたしました。

当日は、林理事長にもご臨席いただき、祝辞を賜りました。また、20年間の歩みをまとめた記念誌を作成し、出席者に配布したほか、これまでの活動を振り返るスライドショーを上映しました。多くの皆様に支えていただきながら歩んできた本会の歴史を、改めて振り返る機会となりました。

記念公演では、大平の獅子舞保存会の皆様に、三好市三野町大平地区に伝わる「大平の獅子舞」を披露していただき、迫力ある演舞で記念式典に華を添えていただきました。

20年間、活動を続けてこられたのは、会員をはじめ、関係者の皆様の温かいご支援とご協力の賜物です。これまでの歩みに感謝し、今後も地域に根ざした活動に取り組んでまいります。



大平の獅子舞

第1回肢体障害者フライングディスク選手権大会開催

徳島県肢体障害者連合会
会長　林　徳太郎

去る7月5日、標記大会を徳島県立障がい者交流プラザで開催しました。県下各地から56人もの選手が参加。選手の皆さん、一投一投真剣そのもので、熱い大会が繰り広げられました。

記念すべき第1回大会の優勝者は、男性部門では梶本義則さん、女性部門では笠井房子さんでした。90歳代の参加者2人には、「笑顔100年の礎賞」が贈られました。

次に、優勝者の喜びの声をお伝えします。

【男性部門優勝】
佐那河内村
肢体（身体）障がい者会
梶本義則さん

「優勝でき、うれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。来年は1メートルのハンディがありますが、初心に戻り、連覇めざしてがんばります。」

【女性部門優勝】
阿波市
肢体（身体）障害者会
笠井　房子さん

「フライングディスクを始めて20年あまりになります。今まで数々の県大会や全国大会にも参加し、団体優勝などをいただきましたが、今回、個人優勝することができ、大変うれしく思います。これも、毎月2回、市場総合福祉センターで市場地区身体障害者会の仲間と集まり、練習を続けた成果だと思います。これからも、フライングディスクを楽しみながら、さらに上を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。」



梶本さん（左）、笠井さん（右）

身体障害者野球「徳島ウイングス」

中・四国身体障害者野球連盟
理事長
徳島ウイングス
代表　西上　勝

2014年4月野球好きの仲間4名が障害者野球チームを結成し、小松島市で活動を開始しました。

その後「野球のまち推進事業」に取り組む阿南市の支援や福祉関係の職員の方等のご協力を賜り、また新聞、雑誌等の記事でも紹介され、メンバーも増えてきました。

そして2015年に徳島県内で初めての障害者の軟式野球チーム「徳島ウイングス」が誕生しました。さらに2017年には日本身体障害者野球連盟への加盟を果たし、様々な大会に参加し、活動しています。

現在、肢体・聴覚・知的障害等のあるメンバー16名で鳴門市内のグランドを中心に月2回定期練習を行っています。

今年度は、7年ぶりの地元開催となる、第18回中・四国身体障害者野球大会が去る9月13日に阿南市橘町の橘港小勝緑地公園グランドで開催されました。四国から「徳島ウイングス」「香川チャレンジャーズ」「愛媛ブレイド」「高知ニューフレンズ」、中国から「岡山桃太郎」「広島アローズ」の6チームが出場しました。

試合はトーナメント方式で「岡山桃太郎」が優勝しました。「徳島ウイングス」は準決勝で「香川チャレンジャーズ」と対戦し、健闘むなしく敗れ、3位決定戦でも「広島アローズ」に惜敗し、残念ながら4位となりました。

今後の課題として新規メンバーやチームサポートの方を募集するとともに益々チームを活性化し、全国大会で活躍できるようになれればと思っています。

野球をやりたい方は、徳島ウイングスのメンバーとして参加し、野球を楽しみましょう。

[定期練習]
第2・第4日曜日
[会場]
鳴門市内グランド
[連絡先]
西上（事務局）TEL
090-4334-1198



徳島県社会参加推進協議会構成団体紹介

徳島県手をつなぐ育成会

理事長　島　優子

社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会は、知的障がいのある人と家族が地域で安心して暮らし、自分らしく生きられる社会の実現をめざして活動する当事者団体です。会員と連携し、啓発活動等を通じて障がい福祉の理解の促進や合理的配慮の普及に取り組んできました。

法人としては、障害者支援施設、短期入所、グループホーム、就労継続支援B型事業、相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービスなど、幼児期から成人期までを一貫して支える体制を整えています。生活・学び・働く場を地域に根ざして展開し、本人の「育つ・学ぶ・働く・暮らす」を支えています。

今年は、手をつなぐ育成会中国・四国地区ブロック研修会を徳島県が当番県として開催します。11月15日、中国・四国の仲間が徳島に集い、学び合い、つながり合う場が生まれます。大会テーマとして「共生社会へ　阿波の国から踊りだそう」、スローガンとして「誰ひとり取り残さない防災を　～こころおどるくらしを～」を掲げ、徳島の文化である踊りを象徴に、安心して暮らせる地域づくりと、災害時にも取り残されない支援体制の重要性を発信する機会としてまいりたいと思っております。

今後の課題は、親亡き後を見据えた住まいの確保、学校・職場・地域での障がい福祉の理解のさらなる促進、そして多様化する支援現場を支える人材育成です。徳島大会での学びを力に、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて歩み続けます。



私の宝物

徳島県身体障害者連合会
監事　田上　重之

中学1年の春の放課後、これから野球部の練習に行くのだという同級生が、最後にユニフォームの袖に腕を通すことで着終えるのをじっと見ていた。野球のユニフォームは、こうやって着るのだなと知った。

一緒に野球部の門を叩きたかったが、体育の時間でさえ半分くらい見学の私には無理だと悟った。大きな挫折だった。

昭和52年25歳になった夏の日、「町内で野球チームを作らんか！」「3、4人集まっとるので来て！」と、呼びに来てくれた。

初めての練習試合まで、とにかく早かった。2週間くらいだった。皆でチーム名とユニフォームを考えた。楽しかった。できなかった野球ができる夢があった。

いつの間にか監督になっていた。それから今年で48年間野球を通じて、障害者であっても野球に関わることができることを示すことができ、本望に思っている。その間、汗と涙が浸み込んだ長年着続けた私の宝物であるユニフォームが茶の間の壁に飾られている。



「身体障害者相談員研修会」開催

相談業務の充実を図るとともに、相談員の資質の向上と、他市町村の相談員との交流を目的に研修会を開催します。

【日時・場所】
○東部会場（県庁）11月25日
○南部会場（阿南ひまわり会館）1月17日
○西部会場（県美馬合同庁舎）1月26日
開催時間は、各会場とも13時～15時50分

【内容】
◇講演「地域共生社会における身体障害者相談員の役割」
◇グループ討議「身体障害者相談員として～相談活動を語る～」（グループでの意見交換及び発表）

◆南部及び西部の会場では、午前中に専門相談（法律・就労等）を実施します。（事前申し込みが必要です）

県身連TEL
088-631-6266

※身障とくしまでは、毎号地域で行われている活動をご紹介しています。ぜひ、皆様の活動をお寄せください。

徳島県SSピンポンクラブ愛好者（新メンバー）募集！

徳島県SSピンポンクラブ
代表　八百原　義正

SSピンポンとは、生涯（Syougai）の「S」とスポーツ（Sports）の「S」を頭文字に、誰でも参加できる新たなバリアフリースポーツです。この競技は、視覚障がい者が行う卓球（サウンドテーブルテニス）をもとに2015年に三重県で発祥し、競技人口は全国で現在3000人余りといわれています。音の出るボールとラバーを貼っていないラケットを使い、卓球台とネットの隙間（4.2㎝）をくぐらせるように打ち合います。

この度、本県においても「SSピンポン」の普及を目的に「徳島県SSピンポンクラブ」を設立しました。興味がありましたら左記へ連絡の上、お気軽に見学にお越しください。

練習場所：徳島県立障がい者交流プラザ　サウンドテーブルテニスルーム
徳島県SSピンポンクラブ
TEL　0885-32-4422
担当：八百原



R8.2.22　第41回四日市市SSピンポン交流大会

自動車運転免許取得用車両設置

徳島県身体障害者連合会では、身体障害者等の運転免許取得を支援するため、訓練に用いる教習車両を一般社団法人徳島県指定自動車教習所協会に協力いただき自動車教習所に配車しています。

運転免許取得・更新についてのご相談は、運転免許センター安全運転相談ダイヤル（#8080）まで。

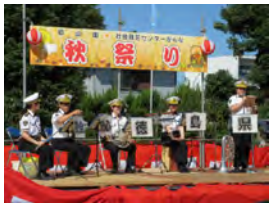


専用教習車両

眉山園だより

10月3日に地域の皆様もご参加いただき、恒例の秋まつりを開催しました。

今年は初めての昼間での開催となりましたが、いつもとは違ったお祭りを楽しむことができました。



秋まつり

小星園だより

7月は、たこ焼き大会を行いました。

家族といっしょに食べる焼き立てのたこ焼きは格別でした。

ティータイム時のアイスクリームも大満足でした。こども時代にタイムスリップしたような気持ちになりました。

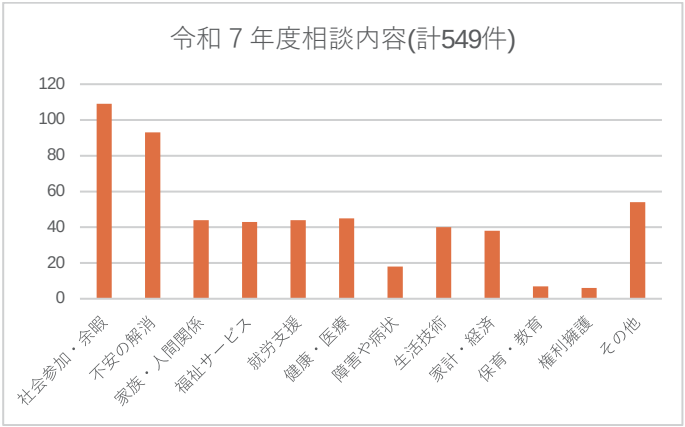


たこ焼き大会

事業予定

10月　8日	第27回中・四国ブロック 身体障害者相談員研修会（香川県）
10月29日	令和8年度「とくしま健康福祉のつどい」 第45回徳島県身体障害者福祉大会 （あわぎんホール）
11月　6日	第50回中・四国身体障害者福祉大会 （ひろしま大会）
徳島県身体障害者相談員研修会	
11月25日	東部会場（徳島県庁）
令和9年 1月17日	南部会場（阿南ひまわり会館）
1月26日	西部会場（徳島県美馬合同庁舎）
12月　5日	令和8年度障害者週間行事 （県立障がい者交流プラザ） 「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」コンクールの最優秀賞受賞者に授与、「徳島県障がい者マイスター」認定証の授与、エイサー公演など
令和9年 3月	徳島県社会参加推進協議会

令和7年度身体障害者サポートダイヤル実績報告



令和7年度の相談内容は、昨年度に引き続き、「社会参加・余暇」が最も多く、「家計・経済」に関する相談が増加しました。

◎身体障害者サポートダイヤル
毎週月曜日から金曜日　9時～17時
相談ダイヤル　088-631-6240　FAX　088-631-6211

◎専門相談（要予約　TEL　088-631-6266）
♦就労・法律・住環境等
♦多田羅勝義医師（小児科）による身体障害相談

第72号　2026年10月発行　社会福祉法人　徳島県身体障害者連合会
〒770-0005　徳島市南矢三町2丁目1-59　徳島県立障がい者交流プラザ3F
URL：https//kenshinren.e-tokusima.or.jp/
TEL　088-631-6266　FAX　088-631-6211

編集・印刷　社会就労センターかもな　〒770-0045　徳島県徳島市南庄町5丁目77-2
TEL　088-632-0510　FAX　088-632-0520